

戦後児童指導要録に関する改訂委員一覧

1948 (昭和23) 年版 学齢修正委員会 (47年9月発足)	1955 (昭和30) 年版 指導要録協議会 (55年4月発足)	1961 (昭和36) 年版 教科等調査研究会 小委員会 (60年9月発足)	1971 (昭和46) 年版 指導要録改善協力者会議 (79年9月発足)	1980 (昭和55) 年版 指導要録改善協力者会議 (79年9月発足)	1991 (平成3) 年版 指導要録改善協力者会議 (90年1月発足)		
井坂行男 (文部事務官) 伊藤祐時 (職業指導協会嘱託) 牛島義友 (東京女子高等師範学校教授) 西部彌太郎 (東京大学教授) 久保舜一 (文部省教育研修所員) 小見山栄一 (文部事務官) 後藤岩男 (東京文理科大学講師) 沢田慶輔 (東京第三師範学校教授) 柴田薰 (東京高等師範学校附属中学校 教諭) 武田一郎 (文部視学官) 荷見秋次郎 (文部事務官) 林部一二 (文部事務官) 水谷純夫 (文部事務官) 三橋嘉一 (横浜市時田中学校長)	井坂行男 (東京教育大学助教授) 大内茂男 (文部事務官) 大島文義 (文部省初等中等教育局視学官) 岩下富哉 (東京大学教授) 武田一郎 (お茶の水女子大学教授・ 同付属小学校主事) 小川浩 (文部事務官) 坂元善太郎 (お茶の水女子大学教授・ 同付属小学校長) 沢田慶輔 (東京大学教授・同付属中学校長) 田中清六 (都教委学務課長) 手塚六郎 (国立教育研究所研究調査部長) 中川秀夫 (埼玉県教委指導主事) 中島保俊 (新宿区成女学園中・高等学校長) 滑川亮夫 (武藏野市放課学園教育研究所 所長) 根本英夫 (柏市柏第五小学校長)	安藤新太郎 (都教委指導第三課長) 猪野広治 (浦和市上木崎小学校教頭) 江波戸敏 (市川市第三中学校長) 遠藤五郎 (港区三光小学校校長) 小川浩 (山田三郎) 坂元善太郎 (お茶の水女子大学教授・ 同付属小学校長) 沢田慶輔 (東京大学教授・同付属中学校長) 田中清六 (都教委学務課長) 手塚六郎 (国立教育研究所研究調査部長) 中川秀夫 (埼玉県教委指導主事) 中島保俊 (新宿区成女学園中・高等学校長) 滑川亮夫 (武藏野市放課学園教育研究所 所長) 根本英夫 (柏市柏第五小学校長)	宇留田敬一 (都教委指導部第二課長) 大曾清 (大阪府教委指導部第三課長) 加藤義男 (全国連合小学校会長) 金井達蔵 (横浜国立大学助教授) 金子敏 (東京学芸大学教授) 高橋義一 (横浜市立鶴ヶ戸中学校教諭) 井上義一 (横浜市立鶴ヶ戸中学校教諭) 西村清 (葛飾区立清和小学校教諭) 人見裕郎 (昭和女子大学付属幼、小、 中、高等学校長) 藤原厚悦 (東京学芸大学助教授) 細谷俊夫 (立教大学教授) 坂和夫 (千葉県市川市立第7中学校長) 松村謙 (東京都立教育研究所次長) 村瀬隆一 (宮城教育大学教授) 吉住伝吉 (全日本中学校会長) 吉本二郎 (東京教育大学教授)	崎義義男 (大田区立貝塚中学校長) 上田照子 (日黒区立大岡山小学校教諭) 奥田真丈 (横浜国大助教授) 梶原康史 (武庫川女子大学教授) 下田迪稚 (横浜国大助教授) 金井達蔵 (横浜国大助教授) 下田迪稚 (都教委指導部初等教育指導課長) 高橋栄 (千代田区立錦華小学校校長) 辰野千寿 (千代田区立深沢中学校長) 田村嘉正 (世田谷区立深沢中学校長) 水野立史 (国立教育研究所第三研究部長) 相馬孝之 (板橋区立板橋第五小学校長) 西村清 (葛飾区立清和小学校教諭) 人見裕郎 (昭和女子大学付属幼、小、 中、高等学校長) 藤原厚悦 (東京学芸大学助教授) 細谷俊夫 (立教大学教授) 坂和夫 (千葉県市立新潟小学校長) 平井文雄 (杉並区立松庵小学校長) 包刀和秀 (大阪府教育委員会指導第二課長) 宮本二郎 (茨城県下館市立下館小学校長) 野口治子 (杉並区立桃山第三小学校長)	崎義義男 (大田区立貝塚中学校長) 上田照子 (日黒区立大岡山小学校教諭) 奥田真丈 (横浜国大助教授) 梶原康史 (武庫川女子大学教授) 下田迪稚 (都教委指導部初等教育指導課長) 高橋栄 (千代田区立錦華小学校校長) 辰野千寿 (千代田区立深沢中学校長) 田村嘉正 (世田谷区立深沢中学校長) 水野立史 (国立教育研究所第三研究部長) 相馬孝之 (板橋区立板橋第五小学校長) 西村清 (葛飾区立清和小学校教諭) 人見裕郎 (昭和女子大学付属幼、小、 中、高等学校長) 藤原厚悦 (東京学芸大学助教授) 細谷俊夫 (立教大学教授) 坂和夫 (千葉県市立新潟小学校長) 平井文雄 (杉並区立松庵小学校長) 包刀和秀 (大阪府教育委員会指導第二課長) 宮本二郎 (茨城県下館市立下館小学校長) 野口治子 (杉並区立桃山第三小学校長)	崎義義男 (大田区立貝塚中学校長) 上田照子 (日黒区立大岡山小学校教諭) 奥田真丈 (横浜国大助教授) 梶原康史 (武庫川女子大学教授) 下田迪稚 (都教委指導部初等教育指導課長) 高橋栄 (千代田区立錦華小学校校長) 辰野千寿 (千代田区立深沢中学校長) 田村嘉正 (世田谷区立深沢中学校長) 水野立史 (国立教育研究所第三研究部長) 相馬孝之 (板橋区立板橋第五小学校長) 西村清 (葛飾区立清和小学校教諭) 人見裕郎 (昭和女子大学付属幼、小、 中、高等学校長) 藤原厚悦 (東京学芸大学助教授) 細谷俊夫 (立教大学教授) 坂和夫 (千葉県市立新潟小学校長) 平井文雄 (杉並区立松庵小学校長) 包刀和秀 (大阪府教育委員会指導第二課長) 宮本二郎 (茨城県下館市立下館小学校長) 野口治子 (杉並区立桃山第三小学校長)	崎義義男 (大田区立貝塚中学校長) 上田照子 (日黒区立大岡山小学校教諭) 奥田真丈 (横浜国大助教授) 梶原康史 (武庫川女子大学教授) 下田迪稚 (都教委指導部初等教育指導課長) 高橋栄 (千代田区立錦華小学校校長) 辰野千寿 (千代田区立深沢中学校長) 田村嘉正 (世田谷区立深沢中学校長) 水野立史 (国立教育研究所第三研究部長) 相馬孝之 (板橋区立板橋第五小学校長) 西村清 (葛飾区立清和小学校教諭) 人見裕郎 (昭和女子大学付属幼、小、 中、高等学校長) 藤原厚悦 (東京学芸大学助教授) 細谷俊夫 (立教大学教授) 坂和夫 (千葉県市立新潟小学校長) 平井文雄 (杉並区立松庵小学校長) 包刀和秀 (大阪府教育委員会指導第二課長) 宮本二郎 (茨城県下館市立下館小学校長) 野口治子 (杉並区立桃山第三小学校長)

(注) (1) 備線は会長(座長)である。

(2) 1955年改訂に際しての指導要録研究協議会の全メンバー(計19名)については、「文部広報」「文部省年報」「初等教育資料」「教育委員会月報」「官報」「日本教育年鑑」で調査したが判明した。

田中耕治

作成

戦後児童指導要録の特徴

年	基本方針・特徴	教科の評価	行動と性格の評価他
1948 (昭和23)	○個々の児童について、全体的に、継続的に、その発達の経過を記録し、その指導上必要な原簿となるものである……できるだけ客観的に、しかも簡単に、かつ容易に記録されるよう作られてある。 ○様式・規格は、地方の学校の特殊性に応じて変更可能。 ○指導の累加記録という性格上、進学先に原本を送付。10年間保存。 ○要録は、補助簿(精密な累加記録)の作成を前提としている。	○指導の有効性のために、分析的に評価する。 ○評価の客観性のために、評定法は、「+ 2, + 1, 0, - 1, - 2」(相対評価法)。 ○児童の個性を全体的に把握するために、「学習指導上とくに必要と思われる事項」「全体についての指導の経過」欄を設ける。	○「行動の記録」欄は、分析目標(23項目)に即して、「+ 2, + 1, 0, - 1, - 2」(相対評価法)。 ○B「どんなものに興味をもつか」「どんな特技をもつか」「とくに指導を要する行動」、C「とくに参考となる行動や経験の記録」の欄設定。 ○「標準検査の記録」「身体の記録」の欄設定。
1955 (昭和30)	○指導および外部に対する証明等のために役立つ簡明な原簿とした。 ○原本は保存し、転学の場合は写し、進学の場合は抄本を送付。保存期間は20年間。	○「評定」欄の設定——総合評定を採用。5, 4, 3, 2, 1の相対評価法。 ○「所見」欄の設定——個人内評価。観点は分析目標ではない。能力の観点と領域的観点の並記(○印、×印、特徴のない場合は無記入)。 ○「備考」欄設定毛——学習態度、努力度などの記述。	○「教科以外の活動の記録」欄の設定——教科外教育の位置付け。個性の特性に応じた文章記述。 ○「行動の記録」欄——価値的項目はABCの絶対評価。性格的傾向性の項目は個人としての比較から特徴のある場合には○×の印。「趣味・特技」「所見」の欄設定。
1961 (昭和36)	○1955年版の要録の方針を継承し、その趣旨をより徹底する方向で改訂する。 ○1958年改訂の告示版学習指導要領に照らして、必要な改訂を行う。 ○要録の用紙規格を統一。住民票=要録の学籍の記録という関係を明確にし、公簿としての性格をはっきりさせる。	○「各教科の評定」欄——「学習指導要領に定めるその教科の教科目標および学年目標に照らし、学級または学年において」5段階の相対評価法。 ○「各教科の学習についての所見」欄——個人内評価。観点は評定にあたり参考。「進歩の状況」の新設。 (○印記入)。 ○「備考」欄は前回と同趣旨。	○「行動および性格の記録」として一括したうえで、各欄の設定(学習指導要領の改訂等の影響)。 ○「事実の記録」欄——教科外の活動を文章記述。 ○「評定」欄——ABCの評定。自省心・向上心・同情心の新項目(特設道徳の影響)。 ○「所見」欄。
1971 (昭和46)	○1968年の学習指導要領改訂に伴う改訂であり、部分的な改訂にとどまる。 ○「本籍」「健康の記録」欄の廃止。 ○通信簿には、要録の様式、記載方法等をそのまま転用することは必ずしも適当でない旨注意する。	○「評定」欄——5段階に機械的に割り振ることのないように明記。絶対評価を加味した相対評価。平素の学習態度も考慮すること。 ○「所見」欄——個人内評価。各観点は評定を行う際の分析的な要素。関心の削除。無記入の禁止。 ○「備考」欄。	○「特別活動の記録」欄の新設——学習指導要領の改訂により設定。原則として全員記入。 ○「行動および性格の記録」欄——「評定」欄はABC。 (創意くふう)が新項目。 ○「所見」欄には健康状況、趣味、特技などを記入。
1980 (昭和55)	○要録を児童生徒の指導に一層役立たせるという観点から改善を図った(1977年版学習指導要領の趣旨に即し、かつ要録の記入・活用を積極的に行う姿勢づくりや日常の学習評価改善の契機にしたいという意図)。 ○要録の様式等も教育委員会、学校の主体的な工夫を期待する。用紙の規格も言及しない。	○「評定」欄——絶対評価を加味した相対評価。小学校低学年は3段階に変更。 ○「観点別学習状況」欄——絶対評価を導入。+(十分達成)、空欄(達成)、-(達成不十分)の3段階。観点として、能力分析的な観点で統一し、全教科に関心・態度。 ○「所見」欄——個人内評価。	○「特別活動の記録」欄——活動の意欲と集団への寄与という二つの観点を設定。活動状況を書く。 ○「行動および性格の記録」欄——「評定」欄は+(優れたもの)、空欄(特徴を認めがたいもの)、-(特に指導を要するもの)。(勤労意欲)が新項目。 ○「所見」欄は全体的にとらえた特徴記述。

年	基本方針・特徴	教科の評価	行動と性格の評価他
1991 (平成3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1989年版学習指導要領がめざす学力観（自ら学ぶ意欲の育成や思考力、判断力などの能力育成）に立ち、かつ児童生徒一人一人の可能性を積極的に評価し、確かな自己実現に役立つようとする。 ○ 指導要録に記録する内容の精選。学籍に関する記録の部分と指導に関する記録の部分を別葉として編製し、後者の保存期間を5年。 ○ 「標準検査の記録」欄の廃止。新欄※で記述。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「観点別学習状況」欄を基本——絶対評価。A「十分満足できる」、B「おおむね満足できる」、C「努力を要する」。観点は、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の順。 ○ 「評定」欄——低学年廃止。中・高学年は3段階相対評価。 ○ 「所見」欄——個人内評価。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別活動の記録」欄——「活動状況」欄では学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事につき○印記入。「事実及び所見」欄では長所を書く。 ○ 「行動の記録」欄と改称——「行動の状況」欄では発達段階考慮。○印記入。 ○ 「所見」欄に総合的視点。 ○ 「指導上参考となる諸事項」欄※新設。
2001 (平成13)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1998年版学習指導要領に即して、基礎・基本を確実に身につけ、また「生きる力」の育成をはかる評価の考え方や方法を工夫する。 ○ 「評定」欄も相対評価をやめ、目標に準拠した観点別の評価を基本として、児童の可能性や進歩の状況をみる個人内評価も重視する。 ○ 「総合的な学習」における評価の観点を定め、文章記述する欄を設ける。 ○ 「生きる力」を総合的にとらえるために、所見欄等を統合して「総合所見及び指導上参考となる諸事項」とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「観点別学習状況」欄が基本——目標に準拠した評価。ABCの3段階と「観点」の内容は前回と同様。 ○ 「評定」欄——第3学年以上は3段階の目標に準拠した評価。 ○ 分析的な「観点別学習状況」の評価を「評定」の評価にどう統括するのかは各学校において工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別活動の記録」欄では、各内容ごとに十分に満足できる場合は○印。 ○ 「行動の記録」欄では、学校生活全体にわたる行動について、十分に満足できる場合は○印。 ○ 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」欄を新設。
2010 (平成22)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2008年版学習指導要領の改訂（特に「確かな学力」観）の趣旨を反映した改訂である。 ○ 2001年版指導要録の考え方を大枠維持し、深化をはかる。 ○ PDCAサイクルのなかに学習評価を位置付け、現場主義を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「観点別学習状況」欄を重視——「確かな学力」観の三要素にあわせて、「観点」を整理。「習得」レベルは「知識・理解」「技能」「活用」レベルは「思考・判断・表現」、「学習意欲」は「関心・意欲・態度」（特に「表現」の位置付けが変化）。 ○ 小学校「外国語活動」は、「総合的な学習の時間」の評価と同様に評価の観点を設定して文章記述。 ○ 「パフォーマンス評価」「ポートフォリオの活用」を明記。 ○ 「評定」欄は存続、その決定方法は各地域、学校に委ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別活動の記録」欄では、各活動・学校行事ごとに十分に満足できる場合は○印。その場合、評価の観点を明示する必要。 ○ 「行動の記録」欄では、学校生活全般にわたって、十分に満足できる場合は○印。改正教育基本法や学校教育法の一部改正の趣旨を反映する必要。 ○ 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」欄では、個人内評価の結果を記入。

【参考文献】後藤岩男ほか監修『新学籍簿の記入法』金子書房、1948年。
岩下富蔵ほか『改訂指導要録の記入法』明治書房、1955年。
上野芳太郎ほか『新指導要録の解説』帝国地方行政学会、1961年。
諸沢正道ほか編『新指導要録必携』第一法規、1971年。
諸沢正道監修『指導要録の解説：昭和55年改訂』ぎょうせい、1980年。
渋沢憲一ほか『小学校児童新指導要録の解説と実務：平成3年改訂』図書文化社、1991年。
井上正明編『小学校指導要録・通信簿の記入例と用語例』国土社、2001年。
教育開発研究所編『小学校・中学校「新指導要録」解説と記入』教育開発研究所、2010年。

（田中耕治作成）

項目	行 動 の 記 録						
	学年	一 年	二 年	三 年	四 年	五 年	六 年
評価	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2
1 ひとと親しみ	+	+	+	+	+	+	+
2 ひとと尊敬する	+	+	+	+	+	+	+
3 ひとの立場を受入れる	+	+	+	+	+	+	+
4 ひとと協力する	+	+	+	+	+	+	+
5 仕事を熱心にする	+	+	+	+	+	+	+
6 責任を重んずる	+	+	+	+	+	+	+
7 持久力がある	+	+	+	+	+	+	+
8 計画工夫する	+	+	+	+	+	+	+
9 自制心がある	+	+	+	+	+	+	+
10 自分で判断する	+	+	+	+	+	+	+
11 正義感がある	+	+	+	+	+	+	+
A 12 正しく批判する	+	+	+	+	+	+	+
13 安定感がある	+	+	+	+	+	+	+
14 指導力がある	+	+	+	+	+	+	+
15 態度が明るい	+	+	+	+	+	+	+
16 礼儀が正しい	+	+	+	+	+	+	+
17 きまりを理解して守る	+	+	+	+	+	+	+
18 探究心がある	+	+	+	+	+	+	+
19 美への関心をもつ	+	+	+	+	+	+	+
20 衛生に注意する	+	+	+	+	+	+	+
21 勤労を喜ぶ	+	+	+	+	+	+	+
22 物を大事にする	+	+	+	+	+	+	+
23 (その他)	+	+	+	+	+	+	+
どんなんものに興味をもつが、							
B どんなん特技をもつか							
C どんなん行動を要する							
行動など	校 内	校 外					
見							

項目	学 習 の 記 録						
	学年	一 年	二 年	三 年	四 年	五 年	六 年
評価	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2	+2+1 0-1-2
国語	+	+	+	+	+	+	+
算数	+	+	+	+	+	+	+
理科	+	+	+	+	+	+	+
社会	+	+	+	+	+	+	+
技術	+	+	+	+	+	+	+
理解	+	+	+	+	+	+	+
態度	+	+	+	+	+	+	+
数能	+	+	+	+	+	+	+
能力	+	+	+	+	+	+	+
能 質	+	+	+	+	+	+	+
音楽	+	+	+	+	+	+	+
美 表	+	+	+	+	+	+	+
理 表	+	+	+	+	+	+	+
画 製	+	+	+	+	+	+	+
工作	+	+	+	+	+	+	+
家庭	+	+	+	+	+	+	+
態度	+	+	+	+	+	+	+
能 力	+	+	+	+	+	+	+
理 質	+	+	+	+	+	+	+
研究	+	+	+	+	+	+	+
見	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+	+	+	+
記入	+	+	+	+	+	+	+
参考	+	+	+	+	+	+	+
経験	+	+	+	+	+	+	+
記録	+	+	+	+</td			

学習の記録							教科以外の活動の記録						
学年	1	2	3	4	5	6	評定	所見	評定	所見	評定	所見	評定
国語	言語への関心、意識、聞く、話す	言語への関心、意識、聞く、話す	言語への関心、意識、聞く、話す	言語への関心、意識、聞く、話す	言語への関心、意識、聞く、話す	言語への関心、意識、聞く、話す	1	言語への関心、意識、聞く、話す	2	言語への関心、意識、聞く、話す	3	言語への関心、意識、聞く、話す	4
社会	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断	5	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断	6	社会的な関心、思考、技能、道徳的な判断			
算数	数量への関心、認識、技能、道徳的な判断	数量への関心、認識、技能、道徳的な判断	数量への関心、認識、技能、道徳的な判断	数量への関心、認識、技能、道徳的な判断	数量への関心、認識、技能、道徳的な判断	数量への関心、認識、技能、道徳的な判断							
理科	自然への関心、実験観察の技能、知識、理解	自然への関心、実験観察の技能、知識、理解	自然への関心、実験観察の技能、知識、理解	自然への関心、実験観察の技能、知識、理解	自然への関心、実験観察の技能、知識、理解	自然への関心、実験観察の技能、知識、理解							
音楽	表現、唱、器楽、鑑賞、解	表現、唱、器楽、鑑賞、解	表現、唱、器楽、鑑賞、解	表現、唱、器楽、鑑賞、解	表現、唱、器楽、鑑賞、解	表現、唱、器楽、鑑賞、解							
図画工作	描、現、作、[工]案、鑑賞、理	描、現、作、[工]案、鑑賞、理	描、現、作、[工]案、鑑賞、理	描、現、作、[工]案、鑑賞、理	描、現、作、[工]案、鑑賞、理	描、現、作、[工]案、鑑賞、理							
家庭	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度							
体育	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度	健康安全への関心、運動の技能、理解力的な態度							
備考													

○「備考欄」は、学習態度、進歩の状況等、特記すべき事項を記入する。
○「教科以外の活動の記録」は、学級会、児童会、クラブ活動等について記入する。

○「行動の記録」の欄は5、4、3、2、1を記入する(3は普通の程度を示す)。
判断の傾向および情緒の傾向は、掲げられた観点について、その児童としての特徴があれば○×を記入し、なお、それらが表われる面等を記入する。

1961(昭和36)年版児童指導要録

児童氏名 各教科の学習の記録														各教科の学習の記録														特別活動の記録														
教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教科	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家	語	社会	算	理	音	画	家
年齢	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5																															

児童氏名	各教科の学習の記録						II 観点別学習状況						行動及び性格の記録								
	I 評定						教科 観点						I 評定								
教科	学年	1	2	3	4	5	6	学年	1	2	3	4	5	6	学年	1	2	3	4	5	6
国語	国							表現の能力	文	作	文	理解の能力	語	す	国語	国語に対する関心・態度	言語に対する関心・態度	言語に対する関心・態度	言語に対する関心・態度	言語に対する関心・態度	言語に対する関心・態度
社会	社会							理解の能力	聞	く	聞	書・写	書	む	社会	知識・理解	観察・資料活用の能力	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
算数	算数							会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
理科								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
音楽								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
図画工作								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
家庭	家庭							会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
体育	体育							会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
III 所見								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
第1学年								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
第2学年								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
第3学年								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
III 特別活動の記録								会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
第1学年	1活動の意欲	2集団への寄与						会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
第2学年	1活動の意欲	2集団への寄与						会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断
第3学年	1活動の意欲	2集団への寄与						会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	会	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断	社会的思考・判断

1991(平成3)年版児童指導要録

様式2 (指導に関する記録)	児童氏名						学校名						区分 学年 整理番号									
	教科	観点	1	2	3	4	5	6	教科	1	2	3	4	5	6	内容	1	2	3	4	5	6
国語	国語への関心・意欲・態度								国語							国語						
表現の能力	表現の能力								表現の能力							表現の能力						
理解の能力	理解の能力								理解の能力							理解の能力						
言語	言語に対する関心・意欲・態度								言語に対する関心・意欲・態度							言語に対する関心・意欲・態度						
社会	社会的思考への関心・意欲・態度								社会的思考への関心・意欲・態度							社会的思考への関心・意欲・態度						
観察・資料活用の技能・表現	観察・資料活用の技能・表現								観察・資料活用の技能・表現							観察・資料活用の技能・表現						
社会的思考についての知識・理解	社会的思考についての知識・理解								社会的思考についての知識・理解							社会的思考についての知識・理解						
算数	算数的な思考・表現								算数的な思考・表現							算数的な思考・表現						
理解	理解								理解							理解						
音楽	音楽への関心・意欲・態度								音楽への関心・意欲・態度							音楽への関心・意欲・態度						
図画工作	図画工作								図画工作							図画工作						
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度								家庭生活への関心・意欲・態度							家庭生活への関心・意欲・態度						
体育	運動や健康・安全についての思考・判断								運動や健康・安全についての思考・判断							運動や健康・安全についての思考・判断						
保健	保健								保健							保健						

様式2 (指導に関する記録)

様式2 (指導に関する記録)

様式2 (指揮に関する記録)

日本よりも多様な家庭環境であつたり、学校によつても違うので、4年生でも、入学時に保護者が「子どもの人種をどのように答えたか」、家庭内の言語は何か、などといった項目は、時々確認しなければいけないときがあります。教師が情報を違う書類にうつしたり、記録をとつたりなどということはありません。(間違つたときに訴訟になる場合を恐れてのことだと思います)必然的に、保管する書類は多くなります。障害児教育(今もこの言い方ですか)に関しての書類は、どこには入りません。障害児教育の先生が保管し、3年ほどたつと、

学年末は、このCum Folderの表に、一年ごとに担任が子どものその年の写真を貼り、(1インチ×2インチくらいにシール)になつた写真です。)担任の名前、出席日数、新旧の有無を書き込みます。そして、その年の通信簿のコピーを入れて、次の年のクラス替えに向けた、一人ひとりのフォルダーケースに入れ替えます。クラス替えは、5月半ばに提出です。(学校が始まる直前まで、変更がありますが、